

## 職場体験感想文コンクール2024

タイトル	知識だけではない薬剤師	事務局	112
学校名	酒田市立第一中学校	氏名	服部梓

私は小学生の高学年のときから、人のためになる医療系の仕事につきたいと考えており、中学1年生の総合学習の時間に、薬剤師を目指し始めた。昨年度の活動では、薬剤師になるには国家試験に合格する必要があると知り、同じグループの人と市販医薬品に含まれている成分の比較をしたり、その薬に含まれている成分の効果をまとめたりした。そして今年度は、もっと知識を増やすために、薬と相性が悪い食べ物や飲み物を調べたり、今年の2月に行われた薬剤師国家試験の過去問を解いたりした。薬と相性が悪いものは、意外と身近にあるグレープフルーツや牛乳、納豆などがあった。グレープフルーツは薬と相性が悪いということは聞いたことがあったが、よく食べるもの、飲むものと薬の相性が悪いということを知り、これからの生活で気をつけなければならないと思った。国家試験の勉強では、知らない言葉がたくさん出てきて、最初は問題の意味が全くわからなかった。そのわからない言葉を調べ、ノートにまとめ、少しずつわかるようになってきたと思う。そこで、私達は、ここまでの活動を実際に働いている人に、もっと薬剤師に近づくには何をしたらいいのか、助言してもらいたいと思った。

私達が学ばせていただいたのは、「ゆう薬局西高前店」という薬局で働いている薬剤師さんだ。プロの薬剤師さんはこれまでどんなことが大変だったか、そして、薬剤師に近づくためにどんなことをすればいいのかをお聞きしたいと思い、電話で依頼したところ、快く受け入れてくださった。

7月の中旬ごろ、私達はこれまでの活動の記録や質問を準備し、「ゆう薬局西高前店」にお邪魔させていただいた。担当の薬剤師さんは、私達があまり見ない薬局の内側を見せてくださった。中にはたくさんの種類の薬があった。薬剤師さんのお話をうかがうと、ときには自分で調剤することもある、薬を患者さんに渡す前に二人で確認したりする、薬を渡したあとも電話などで状況を確認すると教えてくださった。その後、私達はこれまでの活動を薬剤師さんに伝えた。薬剤師さんは真剣に私達のプレゼンを聞いてくださった。プレゼン後、薬剤師さんは「国家試験を実際に解いてみたのはすごい」とおっしゃってください、とても嬉しかった。そして、「コミュニケーション能力も薬剤師にとって必要なスキルだから、学ぶと良い」とアドバイスをしていただいた。私達は9月にまた訪問させていただきたいとお願いすると、「待っている」と受け入れてくださった。

夏休み、そして2学期、私達は、コミュニケーション能力について調べ始めた。どのようにしたらコミュニケーション能力を鍛えられるのか、何を心がけたらいいのかを調べ、ノートやパソコンにまとめ

た。調べると、話すだけではなく聞く力、わかりやすく話す力が大切だと出てきた。やはり、患者さんに薬の説明が伝わらなければ意味がないのだと思った。これまで、薬を貰いに行ったことを思い出しても、たしかに薬剤師さんの説明は、とてもわかりやすく、信頼感があった。私は説明するのが苦手だから、より一層努力しないといけないなと思った。

9月、再び「ゆう薬局西高前店」を訪問した。担当の薬剤師さんに、コミュニケーション能力についてのプレゼンを聞いて頂いたところ、「知識があっても、それを引き出せなければ意味がない。そのためにコミュニケーション能力が必要なんだ。」と教えていただいた。私はこのとき、「薬剤師に求められているのは知識だけではなく、コミュニケーション能力もとても大事なんだ」と感じた。プレゼン後、私達は調剤の体験をさせていただいた。調剤をする前に、処方箋の紙に、なんの薬を飲むか、1回でどれくらい、1日にどれくらい飲むのか、何日分出すのかを書いた。その後、ジュースを使って調剤体験をさせていただいた。薬局では、すべてを清潔にするため、アルコールや水で道具を洗ってから使っていた。薬をいれる容器を選び、メスシリンダーを使ってジュースの量をはかり、容器にいれる。これを他のジュースも同じ容器に入れ、一つ薬が完成する。担当の薬剤師さんは、「今は機械化が進んでいるから、機械で容器に薬を入れている」と教えてくださった。処方箋が来たら、機械を操作すれば自動で薬を調合する。その間に患者さんに薬の説明ができるということも教えてくださった。人の手では少し分量にズレが生じることもあるから、機械はとても便利なのだなと思った。他にも、薬の形についても教えていただいた。小さい頃は粉薬やシロップだったのを、大きくなってからは玉薬に変えてみたりと工夫をしているらしい。薬剤師には、適切な判断力が必要だと感じた。

今回の総合学習で、私達はたくさんの学びがあった。薬剤師に求められているのは知識だけではなくコミュニケーション能力もだと。そして、逆に知識が不足していることも問題であり、豊富で最新の知識が必須である。私はこれから、もっと国家試験の勉強をして知識を増やしたい。そして、コミュニケーションを取るのが少し苦手なため、どんどん鍛えて沢山のひとと接し、コミュニケーション能力を向上させたい。薬剤師は患者さんの命に関わる仕事である。薬剤師になるためにも、常に正しい知識を持ち、正確に説明できるように、これからも努力していきたい。